

新しん 緑みどり ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



心不全パネミックという言葉をご存じでしょうか？

循環器内科 医師 山根 英路

心不全パネミックは、高齢化により心不全患者数が急激に増加することを意味しています。日本でも高齢化に伴い心不全患者数は増加しており、2020年の日本における心不全患者数はおよそ120万人と推定されており、今後さらなる増加が予測されています。

【心不全とは】

心不全は疾患名ではなく、様々な疾患が原因で現れる病態であり、心臓のポンプ機能が低下し、全身の各組織まで必要な量の血液を供給できなくなる状態を意味します。

【心不全の症状・原因】

心不全の症状としては、脚の前面や足の甲、くるぶしに押すとへこみが残るむくみ、階段や坂道歩行での息切れ、喘鳴、急激な体重増加、動悸、疲労感など多彩な症状があります。進行してくると、安静にしているにもかかわらず症状が出るようになり息苦しくて横になることもできない状態（起座呼吸・きざこきゅう）になります。



心不全の原因は、虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）、高血圧症、心臓弁膜症、心筋症、心筋炎、不整脈、先天性心疾患など、ほぼすべての心疾患が原因となります。心疾患以外にも甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、慢性肺性心、貧血、脚気などに伴う二次性のももあります。

【心不全の検査】

問診：症状を詳しく確認します。

血液検査：心臓に負荷がかかると分泌されるBNP（脳性ナトリウムペプチド）の測定は、心不全の診断、治療効果の判定、予後推定に活用されます。

胸部X線検査：心不全の重症な所見である肺うっ血、胸水、心拡大の有無確認に活用されます。

心電図検査：不整脈や心疾患の検索に活用されます。

心臓超音波検査：心機能評価や心臓弁膜症や心筋症などの心疾患検索に活用されます。

心臓カテーテル検査

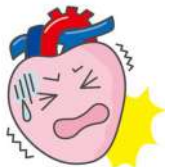
- ①冠動脈造影検査（左心カテーテル）：心臓に栄養を送る血管（冠動脈）の血流を評価します。
- ②右心カテーテル：心臓の中の圧力や血液ガスを測定し心臓弁膜症や心臓内シャントの有無や心不全の重症度を評価します。

【心不全治療】

心不全を引き起こしている原因疾患の治療と、心不全の病態治療の両方が必要となります。心不全の病態治療は心臓にかかる負担を軽減し、心収縮力を増強させる薬物療法が基本となりますが、場合によっては非薬物療法（心臓再同期療法、補助循環療法）を用いることもあります。

【おわりに】

心不全の予後はよくないといわれ、命にかかわる病態です。早期に診断し適切な治療を行うことが重要です。当院でも心臓カテーテル検査を含めた総合的検査・治療を行っております。気になる症状がある方は循環器内科外来を受診しご相談ください。



WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

◇ WEB版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。

8月配信予定 WEB版みんなの健康講座

「胃がんと診断されたら～腹腔鏡下胃切除術について～（仮）」 外科・消化器科 副部長 江間 玲





医事課のドクターズクラークは医師事務作業補助者を含め、外来に18名・病棟に6名のスタッフが所属しております。外来では、各診療科のカウンターで患者さまの問診、検査へのご案内や検査説明等の対応をしています。診察室担当は、診察がスムーズに進むように検査の進捗状況把握・予約変更・問診内容確認等、医師を補助する役割を担っています。また、調剤薬局からの処方内容に関する問合せの対応や、内視鏡検査室の受付業務も行っています。

病棟では、入院中のカルテの管理、ナースステーションでの窓口対応、退院時に必要な書類の準備や退院サマリーの作成補助などの業務を行っています。

また、入院・外来問わず、患者さまから申し込みのあった証明書・診断書・申請書等の文書を作成する補助業務もあります。文書の目的に応じた内容が記載出来るように準備してから医師に依頼することで、少しでも早く患者さまにお渡し出来るように努めています。診断書等に関してご不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

どの業務においても医師・看護師など多職種と連携し、チーム医療の一員として患者さまが安心して治療を受けていただけるよう、これからも『優しい対応』を心掛けてまいります。



第3回 緑すこやか健康講座を開催しました

この度5/27（土）第3回 緑すこやか健康講座を約3年半ぶりに開催いたしました。当日は330名を超える幅広い世代の方々にご来場いただき、想像以上に大盛況となりました。共催の三保町内科・循環器クリニック 小野文明医師より「循環器病の予防と対処について」、横浜新緑総合病院 乳腺外科 大地哲也医師の「知っておきたいがんのこと・乳がんのこと」、同じく消化器内科 白井孝之医師の「怖い便通異常」全3部での講演となりました。

今後ともこのようなイベントを通じて地域の皆様方へ医療・健康に携わる情報を発信してまいります。



栄養豆知識 夏バテ予防に早めの対策を！

栄養科 管理栄養士 大平 真衣

今年の夏も気温は平年並みから高めと予報が出ています。夏バテの予防には規則正しい食生活・適度な運動・休養、バランスの良い食事が推奨されています。夏バテにオススメな食材は皆さんも食べ馴染みのある「豚肉」です。豚肉には疲労回復効果のある「ビタミンB1」やスタミナを増強する「鉄」を多く含むため、疲れた身体にオススメです。以下のひと工夫を加えるとなお効果的な食べ方になるので、ぜひお試しください。

① 豚肉+アリシン(にんにく・ねぎ・たまねぎ・ら)

にんにくや葱に含まれるアリシンは「ビタミンB1」の吸収を高めてくれます。炒めものや煮込み、ソース等にして一緒に食べてみてはいかがでしょうか。

例) 豚肉のねぎ塩炒め・ポークソテーオニオンソース・豚こら炒め

② 豚肉+ビタミンC

豚肉の赤身に多く含まれる「鉄」はビタミンCと一緒に摂取することで吸収率上がります。付け合せや副菜に生野菜や果物を一緒に摂ることをオススメします。

例) 豚とゴーヤの冷しゃぶサラダ・豚とパプリカのトマト煮こみ



診察室レイアウト変更のお知らせ

2023年6月26日（月）より外来フロアの構造変更に伴い診療科配置を変更いたしました。大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、来院時ご不明な点がございましたら、お近くのスタッフにご確認ください。